みおしえ学習会　【かしもの・かりもの　～心一つが我がのもの～】

問１）　（　　）に入る言葉を下から選んで、文章を完成させましょう。

人間というものは、身は（　　）、心一つが（　　）。たった一つの（　　）より、どんな理も日々（にちにち）出る。どんな理も受け取る中に、（　　）という理を聞き分け。　　『天理教教典』第７章

【　自由自在（じゆうようじざい）　・　かりもの　・　我（わ）がのもの　・　心　】

問２）　最近人から借りたもの、人に貸したものを思いつくだけ書いてください。

借りた

貸した

問３）　教祖は、我々の身体は自分のものではなく「かしもの･かりもの」だと教えてくださいました。そのことについて、どう思われますか？

問４）　毎日の生活の中で、「これは親神様のお働きだな、ありがたいな」と感じるのはどんな時ですか？

問５）　最近イラっとしたことはありますか？それはどんな場面でしたか？

問６）　なぜ親神様は、心遣いの自由を与えてくださったのだと思いますか？

問７）　親神様はどういう思いから、身上に見せられるのだと思いますか？これまでの経験をもとに思いつくままにお書きください。

問８）　親神様がお望みになる、陽気ぐらしとはどんな世界だと思いますか？

振り返り）心に残った言葉や事柄は何でしたか、又、今後何を心掛けていきたいと思いますか？